NPO法人 ふろんていあタウン工房

ふろタン通信



2015年 8月 17日 広報センター

No. 10

ふろんていあタウン工房創立1周年

二つの記念行事の報告です!

□7月2日~3日「御嶽山慰霊活動」

UR ワンゲル同好会との共催で計画、木曽ユネスコ協会の御嶽山麓登山道整備活動に参加しました。 翌日に企画していた木曽駒ヶ岳登山は、悪天のため宿場町巡りだけになってしまいましたが、ワンゲルの「海川鳥通信」が7月6日付のN0959号で活動報告をしていますので、登山道整備の部分を抜粋して転載します。報告者は、URワンゲル同好会マネージャーの「鶴見御聴部会長」です。

『悪戦苦闘の笹刈り作業』スタートは、御嶽山の東側からの登山口である黒沢口の6合目にある「中の湯駐車場」。ここから、登山道をふさぐ笹を刈りながら下山して、5 合目の「三笠山登山口」を目指しました。作業は、草刈り機を持った1名が先頭をザックリと刈り進み、残りの3名が、カマ、ナタを使って笹を刈り、登山者が歩ける程度の空間を作って降りていくというものでした。このコースは、一般の登山者はあまり歩かないことから、びっしりと笹に覆われていて、登山道がわからなくなっている個所も多々ありました。筆者は、ナタを使いましたが、最初は笹を刈るコツがつかめず、悪戦苦闘。後半からやっとコツをつかんで、気持ちいいくらいに笹を刈りながら進むことができました。ただし、作業終了時には汗だくで、翌日は、普段使わない筋肉を使ったせいで疲労困憊。

夜は、木曽ユネスコ協会会長で日野製薬の社長さんご紹介で、木曽福島の古い街並みの中にあるお 食事処で打ち上げをしました。おいしい料理でした。

登山道での笹刈り作業

木曽ユネスコ協会会長さんと(中央)

黒沢口からの御嶽山







□7月8日 1周年記念活動解告会+懇親会 こちらはワンゲル同好会の協賛で、新宿アイランド タワー17FのUR 食堂で開催した懇親パーティー、 40 周年を超えたワンゲルの歩みから誕生した「ふろ

『出席総数 25 名』 普段はあまり顔を合わさない 賛助 会員の皆さんも参加し、会員 19 名十入会候補者 1 名 の他、色々とお付き合い頂いている「まちナビ倶楽部」

タン工房の話などを交え楽しい時間を過ごしました。



からは森角さん三宮さんと丹羽さん、「ミンガラバー・ユネスコクラブ」からは小泉さんと大野さんに出席いただきました。ワンゲル同好会の海外遠征(20周年のキリマンジャロ・35周年の玉山・40周年のビクトリア山)に唯一人皆勤賞の江頭さんの「乾杯!」でスタート、ビクトリア山登山のビデオなどを流しながら、今まで準備をしてきた「飯館部会」「御舗部会」「森林部会」の三部会体制での活動推進について、今年度は体制の充実を図りながら試運転し来年度から本格実施することを少し話し合い、あとはひたすら楽しく雑談。最後に今年11月の第3次調査登山に参加する瀬川さん・森下さんの決意表明を聞き、宮本ワンゲル同好会会長の「締め」でお聞きとなりました。

『三部会体制での活動推進のお願い』三部会のチーム体制づくりに向けて「I.朝倉飯能部会長」「II.鶴見御聴部会長」「II.森下森林部会長」から皆さんに、各部会への参加のお願い・勧誘があります。現会員・賛助会員の皆さまにはぜひいずれかに所属いただきますようお願いいたします。三部会の違いは…? 活動場所でおおまかに分類すると、I は郊外の山が身近なまちの集落、II は地方の山村の集落、II はピクトリア山麓の集落、といったところでしょうか。共通のキーワードは「辺境のタウンづくり」(強制ではありませんが是非ご参加ください。掛け持ち参加・大歓迎!)

□「第3回ふろタンインタビュー」を8月中にホームページにサイトアップの予定です。タイトルはお盆明 けらしく(?) 天空の山の「祈しの造形」中身は見てのお楽しみです!

8月14日現在の会員メンバー

※新入会員

正会員;室井隆良 瀬川基之 安原昭子 浜崎良治 森田忠志 赤川勉 朝倉正浩 高田睦夫 安村孝志 宮本保宏 鶴見隆志 山本稔 森下毅一(13名)

養助会員(個人): 安田重雄 川添修 岩本善恵 牛久保亮— 小平和司 髙橋修司 青柳志郎 迎尚子 岡島史祥 安達哲郎 前澤一雄 鈴木俊明 大墨宗重 長野啓 三田村喜己男 小島正勝 前園耕夫 林和馬 佐藤智哉 桑島義也 高橋美穂 田中俊美 渡邊牧子 六郷昌紀 平井和夫 竹川清和 江頭謙二 伊藤宏一 内崎千晴 水□雅恵(30名)

賛助会員(団体) ; ㈱ピース・イン・ツアー(八井麻由美)(㈱アルテップ(荒川俊介) (衛プラディ・アソシエイツ(深島一郎) 昭和㈱(髙木長門)(㈱都市開発リサーチ(菅野雅樹) (㈱ヨシモトポール(柳澤匠)(6社)